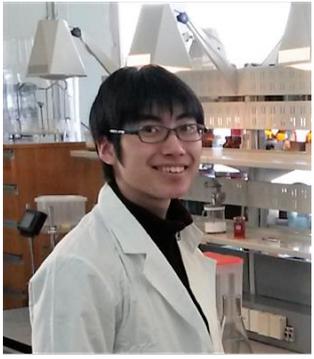


ふりがな 氏名	しんじょう なおあき 新莊 直明	都道府県 東京都	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・青年環境 NGO Climate Youth Japan 副代表 ・東京大学大学院理学系研究科修士課程 		
私のESD活動	気候変動問題の解決に向けた官僚との意見交換と、若者・学生を対象とした普及啓発活動		

活動の概要

Climate Youth Japan の副代表・国内政策プロジェクト統括として、日本における気候変動対策が、より持続可能な、将来世代に向けたものになることを目指し、活動してきました。

昨年 11 月にユース代表として行った環境省中央環境審議会長期低炭素ビジョン小委員会におけるプレゼンテーションでは、提言内容の策定に携わり、2050 年に向けた長期低炭素ビジョンが、将来あるべき姿から逆算して策定されるべきであることを訴えました。

東京 2020 五輪に向けて、持続可能性に配慮した東京五輪のムーブメントを全国に広げていくことを目指し、今年 2 月に東京 2020 五輪組織委員会委員をゲストにお呼びして、他の三つの学生団体とともに 50 人規模のイベントを運営・開催しました。そのイベントを契機に、様々な分野の社会人・団体との協働が始まりました。

今年の 6 月には、気候変動による海面上昇の影響を大きく受けている、マーシャル諸島大統領のご息女の来日に合わせ、彼女をゲストに迎え、彼女を支援する団体とイベントを共催しました。そこでは、日本の若者・学生が、気候変動の影響を現在進行形で受けている国の現状を彼女から直接聞くことで、将来の気候変動の影響を緩和し、すでに現れている影響に適応するために、自分たちに何ができるか考え、彼女との意見交換を英語で行いました。

○「Climate Youth Japan (CYJ) Facebook」 <https://www.facebook.com/climateyouthjapan/>

○「Climate Youth Japan (CYJ)」 <http://climateyouthjapan.org/>

今後の活動や協働への展望

気候変動問題はあらゆる生産・消費活動によって排出される温室効果ガスが原因になっているため、様々な利害が複雑に絡み合っており、行政、企業、NGO どの一つの立場だけでも解決することは困難です。このことは、省庁・企業のみならず、意見交換を通じて再認識されたことでした。今後は、ESD の実践者同士で強く連携することにより、省庁・企業など他の立場の方々を巻き込んでいきたいと思えます。

Climate Youth Japan としては、東京 2020 五輪に向けて、「オリンピック競技大会開催について持続可能な開発を促進する」というオリンピック憲章の理念を全国に広め、持続可能性に配慮した取り組みを五輪開催後もレガシーとして残せるように活動していきます。そのムーブメントを大きく広げるため、コンファレンスで出会った実践者のみなさまと協働したいと思います。さらに、これまでの省庁との意見交換会を発展させ、単なる意見交換から官民協働での持続可能な社会づくりへとつなげたり、企業に対して持続可能なライフスタイルや商品の提案を行い、実現させたりというように、活動の幅を広げていきたいと考えています。それに際しての政策の立案・提言やサービス・商品の開発を、ESD を実践する他の日本ユース団体・個人と一緒に行っていきたいと願っています。